

## 目次

はじめに .....	中矢一義	3
第1章 公共ホール評価指標の構築に向けて .....	佐藤 望	7
良い公共ホールとは／集客数の呪縛／適切な評価とは何か／「理念→目標→計画→実行→評価→理念」の循環発展プロセスを持続的に継続するには／公共ホール運営に関する知識の蓄積——これまでの研究／本書でいう「公共ホール」とは／本書の視点／文化行政における公共ホール——中川モデルを出発点として／「文化」と「教育」ということに関する本書の基本的立場／公共ホールを「広義の」教育・学習の場として捉えらるべきの評価マトリクス		
第2章 公共ホール運営のアカウンタビリティ ——自主事業の役割とその評価 .....	石井 明	29
公共ホールに対する地域住民の声／公共ホール運営に対する対極の見解／ボウモルとボウエンが唱える芸術活動に対する公的助成の正当性／ボウモルとボウエンによる公共財の概念と日本の公共ホール／自主企画に対する評価方法／地域住民を知ることへのこれまでの対策と問題点／パフォーマンス・アーツと集客に関するこれまでの実践的な研究／パフォーマンス・アーツと集客に関するこれまでの理論的な研究／参加を決定するまでのプロセス——ジネット・マッカーシー・モデル／地域住民を正確に把握する／理念および目的の設定、そしてそれを基準とした自主事業／これまでとは異なる自主事業に対する評価方法／公共ホールによる自己評価の問題点／自主事業に対する評価例／まとめ		
第3章 公共ホールにおける教育プログラムとその評価 .....	猪股正幸	79
基本方針を持たずに行われてきた公共ホールの教育プログラム／公共ホールと教育の関係を取り巻く法制度／公共ホールの教育プログラムと地域／教育プログラムの基本方針を作る／教育プログラムを評価する／まとめ		

第4章	公共ホールにおける住民参画運営と市民参加公演	瀬藤康嗣	99
	<p>〈市民参加〉概念の混乱／ホールにおける住民参画運営と市民参加公演／ 住民参画によるホール運営／市民参加公演／まとめ</p>		
第5章	伝統芸能と公共ホールのアイデンティティー	宮田昌子	147
	<p>伝統芸能と公共ホール／公共財としての伝統文化／公共財としての伝統芸 能の保存と活用／公共ホールのアイデンティティー／伝統芸能を活用した事 業の実際／評価指標の作成へむけて</p>		
第6章	公共ホールのヒューマン・リソース	佐藤 望	175
	<p>公共ホールにおける「人」の問題／全国一律の組織基準をもたない公共ホー ル／公共ホールにおける人の役割／公共ホールの運営モデル／運営モデル にしたがった組織作り／公共ホールの機能</p>		
補章	アメリカの大学による舞台芸術公演事業とそれに対する 評価の概念		
	——日本の公共ホールとの比較考察	石井 明	201
	<p>アメリカの大学と日本の公共ホールを比較する意義／舞台芸術鑑賞機会の 提供と公的資金、そしてそれに対する説明責任／事業費の収支と舞台芸術 事業のアカウントビリティ／アメリカの大学による舞台芸術公演事業例／ま とめ</p>		
	索引		219
	監修者・執筆者紹介		221